

日本人口学会 第73回大会  
 Population Association of Japan  
 The 73<sup>rd</sup> Annual Meeting of the Population Association of Japan  
 2021年6月5日(土)～6月6日(日)

オンライン開催  
 共催 東京大学

日本人口学会会長 小島宏(早稲田大学)

大会運営委員会 梅崎昌裕(委員長) 小西祥子(委員)

大会企画委員会 是川夕(委員長 国立社会保障・人口問題研究所) 小西祥子(副委員長 東京大学) 大泉嶺(国立社会保障・人口問題研究所) 中川雅貴(国立社会保障・人口問題研究所) 中澤港(神戸大学) 水落正明(南山大学) 森木美恵(国際基督教大学) 井上希(幹事 国立社会保障・人口問題研究所) 久井情在(幹事 国立社会保障・人口問題研究所)

タイムテーブル

1日目(6/5)		2日目(6/6)	
9:00	国際①	9:00	移動①
	企画②妊孕力 (3報告)		企画①長寿 (4報告)
10:00	(休憩)	10:00	(休憩)
10:15		10:15	
	国際②		移動②
	世帯		(休憩)
11:15	(休憩)	11:15	(休憩)
11:30		11:30	企画③コロナ (5報告)
	国勢調査		人口と政策
	結婚・家族		(昼休み)
12:30	(昼休み)	12:30	(昼休み)
13:30		13:30	健康・医療
	シンポジウム		人口モデル
14:30	(休憩)	14:30	(休憩)
15:30		14:45	
15:45	(休憩)	15:45	人口減少下の 地域
	総会	16:00	企画④近代 (4報告)
17:10		17:00	地域人口
			16:15

<第1日 2021年6月5日(土) 午前の部>

自由論題 A-1 「国際①」

9:00～10:00

- 1) 可部繁三郎(日本経済新聞社)「台湾の博士号取得者における博士課程進学年齢と結婚, 就業」
- 2) 楊非凡 (Yang Feifan)・聶海松 (Nie Haisong) (東京農工大学)「中国における長期介護保険制度に関する研究—15 の試行都市の実態分析に基づいて—」
- 3) 梁凌詩 Nancy (Leung Ling Sze Nancy) (東洋大学)「香港における政治的不安定が出生に与える影響」

企画セッション② 「技術革新と環境化学物質は妊孕力に影響しているか？」

9:00～10:00

組織者：小西祥子(東京大学)

- 1) 赤川学・小西祥子・仮屋ふみ子(東京大学)・森木美恵(国際基督教大学)「日本人の性行動の経時的変化」
- 2) 森木美恵(国際基督教大学)・小西祥子・赤川学・仮屋ふみ子(東京大学)「男性の性行動と文化的な不妊について」
- 3) 小西祥子(東京大学・ワシントン大学)・山崎一恭(筑波学園病院・山王病院)・猪鼻達仁(山王病院・国際医療福祉大学)・内田将央(筑波学園病院)・仮屋ふみ子(東京大学)・岩本晃明(山王病院・国際医療福祉大学)「男性の生殖機能と内分泌かく乱物質曝露との関連」

自由論題 A-2 「国際②」

10:15-11:15

- 1) 西川由比子(城西大学)「インドにおける高齢化の進行と地域格差」
- 2) 松田浩敬(東京農業大学)「サブサハラ・アフリカにおける世帯構成と栄養摂取：ルワンダ共和国東部州の農村部を事例に」
- 3) 菅桂太(国立社会保障・人口問題研究所)「都市国家シンガポールにおける人口変動の民族格差」

自由論題 B-1 「世帯」

10:15-11:15

- 1) 余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)「社会調査における多世代データ」
- 2) 斉藤知洋・岩澤美帆・余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)「回顧式調査を用いた子世代の家族歴データの構築」
- 3) 松浦司(中央大学)「One-Person Households and Public Assistance in Japanese Elderly: An Analysis Using Prefectural Data」

### 自由論題 A-3 「国勢調査」

11:30-12:30

- 1) 清水昌人（国立社会保障・人口問題研究所）「国勢調査の基準人口を用いた年齢不詳の配分」
- 2) 阿向泰二郎（総務省統計局）「令和2年国勢調査の公表計画及び人口推計（補間補正方法）の見直しについて」
- 3) 廣嶋清志（島根大学）「国勢調査像の形成過程—高橋二郎にみる」

### 自由論題 B-2 「結婚・家族」

11:30-12:30

- 1) 打越文弥（プリンストン大学・院）・ノリーンゴールドマン・ジェームズMレイモ（プリンストン大学）「Revisiting the Relationship between Marriage and Health in Japan」
- 2) 佐藤一磨（拓殖大学）「夫婦関係の悪い結婚と未婚，どちらがより健康度を低下させるのか」
- 3) 江天瑤（お茶の水女子大学・院）「夫婦の家事分担における日中比較—家事労働の時間から—」

<第1日 2021年6月5日（土）午後の部>

### シンポジウム「生物人類学における人口研究の現在」

13:30-15:30

組織者：梅崎昌裕（東京大学）

座長：梅崎昌裕（東京大学）

- 1) 梅崎昌裕（東京大学）「趣旨説明：生物人類学における人口研究の現在」
- 2) 富田晋介（名古屋大学）「東南アジア農村における乳幼児死亡の小集団人口学」
- 3) 長岡朋人（青森公立大学）「古人骨に基づく人口研究の現状と課題」
- 4) 蔦屋匠（総合研究大学院大学）「過去の授乳期間と出生力」
- 5) 井原泰雄（東京大学）「適応論的人間観と出生率の低下」

### 総会

15:45-16:15 会長講演 小島宏（早稲田大学）

16:15-17:10 会員総会（報告）

<第2日 2021年6月6日（日）午前の部>

### 自由論題 C-1 「移動①」

9:00～10:00

- 1) 佐藤廉也（大阪大学）「焼畑民は生涯どれだけ移住するのか？」
- 2) 津谷典子（慶應義塾大学）・黒須里美（麗澤大学）「Patterns and Covariates of Migration in Early Modern Japan: Evidence from Two Northeastern Villages, 1716–1870」
- 3) 永井恵子（総務省統計局）「新型コロナウイルス感染症の流行と国内移動者数の状況」

#### 企画セッション①「長寿・健康研究の現状と展望」

9:00～10:30

組織者：石井太（慶應義塾大学）

座長：是川夕（国立社会保障・人口問題研究所）

- 1) 石井太（慶應義塾大学）・別府志海・菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）「日本版死亡データベースの地域分析・死因分析への拡張・応用」
- 2) 別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）「主観的健康観と疾病の関係からみた健康期間の分析」
- 3) 林玲子・別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）・石井太（慶應義塾大学）・篠原恵美子（東京大学）「日本における複合死因の分析」
- 4) 大津唯（埼玉大学）「死因簡単分類別の長期時系列死因統計の再構築」

#### 自由論題 C-2「移動②」

10:15-11:15

- 1) 小坪将輝（東北大学・院）・中谷友樹（東北大学）「ARDL モデルによる日本の国内人口移動率の低下に関する分析」
- 2) 中川雅貴・小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）「夫婦の出生歴と居住地移動 —人口動態調査出生票を用いた分析—」
- 3) 奥田純子（北陸大学）「県外進学移動および初職時 U ターン移動の要因分析」

#### 企画セッション③「新型コロナウイルス感染拡大と人口動態：何が分かり、何が起きるのか」

10:45～12:30

組織者：岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）

座長：小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）

討論者：井上孝（青山学院大学）

- 1) 林玲子（国立社会保障・人口問題研究所）「国際的・長期的視点からみた新型コロナウイルス感染症の人口への影響」
- 2) 別府志海（国立社会保障・人口問題研究所）「死亡・死因と新型コロナ」
- 3) 岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）「新型コロナウイルス感染拡大期の婚姻・出生への影響」
- 4) 小池司朗（国立社会保障・人口問題研究所）「新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内人口移動傾向の変化」

- 5) 是川夕（国立社会保障・人口問題研究所）「新型コロナ・パンデミックはグローバルな人の移動の流れを変えたのか？」

#### 自由論題 C-3 「人口と政策」

11:30-12:30

- 1) 長谷川普一（新潟市都市政策部 GIS センター）「地方都市における人口減少局面の土地利用」
- 2) 大塚友美（日本大学）「小日本主義時代の人口政策の変遷」
- 3) 松田茂樹（中京大学）「子育て支援の拡充と増税が出生意欲に与える効果ーヴィネット調査を用いた要因研究」

<第2日 2021年6月6日（日）午後の部>

#### 自由論題 D-1 「健康・医療」

13:30～14:30

- 1) 佐々木昇一（神戸大学）「コロナ禍におけるテレワーク実施による労働生産性、年収、メンタルヘルスに与える影響」
- 2) 加藤承彦（国立成育医療研究センター）・高畑香織（湘南鎌倉医療大学）「不妊治療のストレスの原因ー自由記載欄のコメントの分析ー」
- 3) 永井克彦（株式会社JMDC）「労働者のがん罹患率の年次推移」

#### 自由論題 E-1 「人口モデル」

13:30～14:30

- 1) 原俊彦（札幌市立大学）「第1と第2及びポスト人口転換の統合モデル」
- 2) 堀口侑（慶應義塾大学・院）「日本のモデル生命表の開発と地域別生命表推定への応用」
- 3) 逢見憲一（国立保健医療科学院）「2000年～2015年のわが国年齢調整死亡率の死因構造変化とその死因統計上の要因」

#### 自由論題 D-2 「人口減少下の地域」

14:45～15:45

- 1) 衣笠智子（神戸大学）・豊澤圭（神戸大学・院）・藤岡秀英（神戸大学）・山岡淳（大阪成蹊大学）・田村穂（神戸大学・院）「中山間地域におけるソーシャル・キャピタルと住民の健康ー兵庫県姫路市山之内地区の住民アンケートに基づく計量研究ー」
- 2) 安田公治（青森公立大学・神戸大学）・衣笠智子（神戸大学）・衛藤彬史（兵庫県立人と自然の博物館）「農家の健康状況が地域農業に与える影響についての計量的研究ー兵庫県養父市における農家アンケート調査の事例ー」
- 3) 熊谷文枝（杏林大学）「人口減少と地域力ー消滅可能性自治体の事例からー」

企画セッション④「人口からみた近代移行期の日本」

14:45～16:15

組織者：研究企画委員会

座長：黒須里美（麗澤大学）

- 1) 鬼頭宏（上智大学）「移行期における出生率の動向」
- 2) 高島正憲（関西学院大学）「近代移行期における都市人口」
- 3) 平井晶子（神戸大学）「近代移行期の世帯と家族」
- 4) 逢見憲一（国立保健医療科学院）「近代移行期から第二次世界大戦前(中)後の死亡・死因研究に関する展望」

自由論題 D-3「地域人口」

16:00～17:00

- 1) 井上希（国立社会保障・人口問題研究所）「小地域データを用いた市町村合併による過疎地域への影響の検証」
- 2) 鎌田健司・小池司朗・菅桂太（国立社会保障・人口問題研究所）・山内昌和（早稲田大学）「都道府県別にみた人口増加率の要因分解：1950-2015年」
- 3) 丸山洋平（札幌市立大学）「地域人口推計における Child Woman Ratio の分母年齢設定」

**【研究報告について】**

- ・自由論題の報告は、1発表あたり報告15分、質疑応答は5分、合計20分です。
- ・企画セッションとテーマセッションに関しては、組織者に時間配分を一任します。
- ・当日の資料配布はズームを通じて可能ですが、配布するかどうかは任意です。要旨付プログラムのWEB公開は例年通り行います。